

# 5・6年 国語科学習指導案

日 時 令和 元年 1 1 月 2 2 日 (金)  
児 童 宗谷小学校 5 年 5 名  
6 年 5 名  
指導者 ○○ ○○

## 1 単元 ◎多様な情報を読み取り、自分の考えを深めよう

(教材「世界遺産 白神山地からの提言―意見文を書こう」5年教育出版下)

◎筆者の考えを読み、感想を書こう(教材「ぼくの世界、君の世界」6年教育出版下)

## 2 単元(教材について)

### (1) 単元観

本単元は意見文を書くことを最終目標とし、さまざまな資料から世界遺産である白神山地の自然保護の実態や理念などの情報を読み取り、それらを整理し、自らの立場を明確にしたうえで、意見文を書き、交流を行う。

また、本教材は、読むことと書くことの複合単元となっている。自然保護に対する立場の異なる2つの文章を読み、自分の立場を決め、意見文を書き交流することで、自分の考えを広げさせたり深めさせたりさせたい。そして、自分の立場や考えを見直す場を設け、相手や目的に対して自分の考えを明確にし、文章化して発信するのに適した教材であると考えられる。

### (2) 児童の実態等～省略

### (3) 指導観

以上のような実態から、児童に興味を持たせて学習を行わせたい。宗谷では「鹿が多発して交通事故が増えているが、一方で昔、エゾシカが絶滅しそうになって保護をしていた事実」などから、身近な話題を取り上げて、自然環境と人間との共存に関するイメージを膨らませたい。

説明文は物語文と比べて、文章の読み取りが難しいと考えられる。文章構成を意識して、文章全体をとらえて読解できるように取り組ませる。また、「核心地域」と「緩衝地域」の考え方を明確にして、2つの立場をはっきりさせることで、児童の学習の理解をより確かなものにする。また、文章や資料から読み取った情報を整理し、自分の考えをまとめるための材料を準備しておく。そのために「考えを深めるための話し合い」や「意見文の読み合いを通して振り返る」といった活動を取

### (1) 単元観

本単元は、学習指導要「目的に応じ、内容や要旨を把握しながら読むことができるようにする」に基づき、「書かれている内容について事象と感想、意見の関係を押さえ、自分の考えを明確にしながらか読むこと」を受けている。

本教材は、使われている言葉や表現そのものは難しくない。しかし、書かれている哲学的な「感覚の違い」や「感じ方の違い」「自分一人の世界」について考えたことのある児童は少ない。子どもたちは初めて体験する筆者の哲学的な考え方、意見に対して賛成したり反論したりしながら読み進めていける教材である。児童一人ひとりが筆者の意見に対してどう考えるか、常に意識させながら主体的に読めるように工夫していきたい。

### (2) 児童の実態等～省略

### (3) 指導観

以上のような実態から、児童に興味を持たせて学習を行わせたい。「随筆を書こう」の中に出てきた「それ、とって」の言葉の勘違いの作品例を想起させ、自分が思っていることと相手が思っていることが同じとは限らないことを単元の導入で考えさせる。

説明文的文章教材の指導は、文章に述べられていることを正確に読み取る読解に終始してしまう傾向がある。しかし、児童にとっては、今後いろいろな教科学習や生活の中で、説明文に触れることが増え、書くことも多くなると考えられる。そのため、本単元の学習を通して、読解から表現へという流れの学習を設定し、自分らしい見方や考え方のよさを発揮させるようにしたい。

また、読むことによって考えを深めることができるようにすることに力を注ぎたい。そのためには、筆者の考え方に対して、自分は

り入れていきたい。他者の考えを聞くことで、さらに自分の考えを深めていくことができる。その際、聞く側の意識を大事にし、「自分はこう思うが、そういった考えもあるな」というように、互いの考えを尊重しながら学習を進めていきたい。

どう思うかを考えさせる活動を取り入れなければならない。その具体的方法としては、それぞれの考えを交流する場を設定し、自分の考えを深めさせ、また、友だちの捉え方のよさを認め合えるようにしていきたい。

#### (4) 仮説とのかかわり

##### 【仮説】

「読みの基本」を身につけさせることで、主体的に学習に取り組む子どもが育つであろう。

「読みの基本」とは、説明文の文章の全体構造（序論・本論・結論）を捉えることである。文章構成を理解したうえで「問い」とそれに対する「答え」の記述をみつけることや、具体例と筆者の考えを区別するなど、内容を正確に理解する手掛かりとなるものである。

##### 【観点】

構造 化	○授業の始めに本時の流れを示しながら説明し、授業の展開にそってプレートを黒板に移動する。 ○ワークシートを活用して、ガイドラインにそって学習できるようにする。
焦点 化	○発問を【第一発問】（第二発問を深めるための発問）と【第二発問】（一番学ばせたい内容に直結する発問）に絞り1時間の展開をシンプルにする。 ○【第一発問】で、どの児童も学習の土台にあげて、【第二発問】で1単位時間の授業のねらいにせまる。
視 覚 化	○学習の流れや今やっていることを提示する（特に終わりを示す）。 ○間接指導の場面で学習の進め方を提示しておく。 ○説明のポイント（リード）を板書しておく。
共 有 化	○聞き分けるための観点を意識させる。（比較して聞く・幾つのことを言っているのか・事例と意見） ○児童の発言を使ってまとめる。

### 3 単元目標

- ・白神山地に関する多様な文章や資料を読んだり、それを根拠にして自分の考えを書いたりしようとしている。  
(学びに向かう力、人間性等)
- ・資料や図表、グラフなどを用い、自分の立場を明確にして意見文を書くことができる。(思考力・判断力・表現力【書くこと】)
- ・教材文や資料を読み、自然保護について考えたことを発表し合い、自分の考えを広げたり、深めたりすることができる。  
(思考力・判断力・表現力【読むこと】)
- ・説明的な文章の基本的な構成を理解し、活用することができる。(知識及び技能)
- ・筆者の考えと自分の考えを比べながら読んだり書いたりすることができる。  
(学びに向かう力、人間性等)
- ・書かれている内容について、事象と意見の関係を押さえて読むことができる。  
(思考力・判断力・表現力【読むこと】)
- ・筆者の考えを受けて、自分なりの考えを書くことができる。  
(思考力・判断力・表現力【書くこと】)
- ・文や文章にはいろいろな構成があることについて理解することができる。  
(知識及び技能)

#### 4 指導計画(第5学年10時間、第6学年8時間)

- ・学びに向かう力、人間性等⇒【学人】
- ・思考力・判断力・表現力⇒【思判表】
- ・知識及び技能⇒【知・技】

本時(4/12)

本時(5/10)

次	時	学習活動	評価規準	次	時	学習活動	評価規準
1	1	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「多様な情報を読み取り、自分の考えを深めよう」という単元名につながる具体的な日常生活の問題を思い浮かべる。</li> <li>・学習の手順を知り、学習全体の流れを確認する。</li> </ul>	自分の立場や考えを發表しようとしている。 【学人】 音読をしっかりと行い、本文を解しようとしている。【思判表】	1	1	<ul style="list-style-type: none"> <li>・単元名から学習のねらいをつかむとともに、学習の見通しを持つ。</li> <li>・全文を音読し、初発の感想を書く。</li> </ul>	自分の経験を踏まえながら、筆者の主張の大体を読み取ろうとしている。 【学人】
2	2	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「ブナの森が支える豊かな自然」を読み、世界遺産である白神山地はどのようなところなのか読み取る。</li> </ul>	世界遺産である白神山地とはどのようなところなのか読み取るようとしている。 【思判表】	2	3	<ul style="list-style-type: none"> <li>・指示語に着目して、筆者の考えと体験を読み取る。</li> <li>・文末表現に着目し、事例と意見を見分ける。</li> </ul>	具体例を基に筆者の考えを読み取ることができる。 【思判表】
	本時	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「白神山地の自然保護」を読み、白神山地の自然保護の特徴について読み取る。</li> </ul>	文章や資料を比べて読んでいく。【思判表】				
	5	<ul style="list-style-type: none"> <li>・白神山地の自然保護のあり方について自分の立場を決め、その考えの根拠となる情報を見つける。</li> </ul>	意見と根拠の関係をおさえ、自分の考えを明確にしている。 【思判表】				
	6	<ul style="list-style-type: none"> <li>・考えを出し合い、グループで意見を交流することで、自分の考えを深める。</li> </ul>	自然保護に関する考えを發表し合い、自分の考えを広げたり深めたりしている。【思判表】		本時	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「言葉のキャッチボール」について、「好きなアニメの例」を通して読み取る。</li> <li>・自分の今までの経験を振り返る。</li> </ul>	「言葉のキャッチボール」という言葉の意味を読み取ることができる。 【思判表】
	7				6	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「自分だけの心の世界」「一人きりの自分」「心を伝えあうための努力」などの言葉に着目する。</li> <li>・筆者の主張とそのことに対する自分の考えをまとめる。</li> </ul>	筆者の意見を読み取り、自分の考えをノートに書くことができる。 【思判表】
8	<ul style="list-style-type: none"> <li>・意見文の書き方を知る。</li> <li>・自分の立場を決め、「始め」の部分を書き、読みあう。</li> </ul>	文や文章にはいろいろな構成があることを理解している。 【知・技】					

3 まとめあげる	9	<ul style="list-style-type: none"> <li>自分の考えとその根拠を整理する。</li> <li>自分の立場や考えに合った根拠を「中」に書く。</li> </ul>	自分の考えを伝えるための根拠や事例となる材料を集めて書いている。 <b>【思判表】</b>	3 まとめあげる	7	<ul style="list-style-type: none"> <li>『ぼくの世界、君の世界』の学習をもとに、自分なりの視点で意見文を書くという目標をつかむ。</li> <li>自分が書く課題や構想をノートにまとめる。</li> </ul>	目的や意図にそって意見文を書くことができる。 <b>【思判表】</b> これまで学習してきたことを自分の意見文の中でいかすことができる。	
	10	<ul style="list-style-type: none"> <li>「始め」に主張したことや「中」で根拠として書いたことを踏まえ、より自分の考えが伝わるように「終わり」を書き、意見文を完成させる。</li> </ul>			8・9	<ul style="list-style-type: none"> <li>構成表を見ながら意見文を書く。</li> <li>書いた文章について、理由や根拠をふまえて筋道立てて述べられているかを見直す。</li> </ul>	<b>【知・技】</b>	
	11	<ul style="list-style-type: none"> <li>意見文を読み合い感想を書く。</li> <li>友達の感想を基に意見文を推敲する。</li> </ul>	文や文章にはいろいろな構成があることを理解している。			10	<ul style="list-style-type: none"> <li>5年生に意見文を発表し交流する。</li> <li>学習の振り返りをする。</li> </ul>	自分の考えを積極的に伝えあい、友だちの考えと比べようとしている。 <b>【学人】</b>
	12	<ul style="list-style-type: none"> <li>6年生に意見文を発表し交流する。</li> <li>学習の振り返りをする。</li> </ul>	自分の考えを積極的に伝えあい、友だちの考えと比べようとしている。 <b>【学人】</b>					

## 5 本時(第5学年:4/12、第6学年:5/10)

### (1)目標

- 自然保護について自分の意見を持つことができる。  
(学びに向かう力、人間性等)
- 白神山地の自然保護の特徴を読み取ることができる。(思考力・判断力・表現力)

- 筆者に対する自分の考えをもって、進んで書いたり話したりすることができる。  
(学びに向かう力、人間性等)
- 筆者の意見を読み取ることができる。
- 筆者の意見に対する自分の意見を書くことができる。(思考力・判断力・表現力)